

<p>情報リテラシ (Information Literacy)</p>	<p>1 年・通年・2 単位・必修 機械工学科・担当 福岡 寛</p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)</p>		
<p>〔教育方法等〕</p> <p><b>概要：</b> 講義は、コンピュータを道具として使いこなせるように基礎的な概念の説明および演習から始める。中学校等で学んだ事との重複もあるかと思うが、系統的に身につけていってほしい。また、ネットの利用や文書作成、表計算においても理工系を学ぶ学生の素養としての側面を重視した講義内容を予定している。</p> <p><b>授業の進め方と授業内容・方法：</b> 座学とコンピュータを用いた演習を繰り返して行う。講義ごとに学習記録の作成に取り組み、各自の理解度を確認する。また、定期試験返却時に解説を行い、理解が不十分な点を解消する。</p> <p><b>注意点：</b></p> <p><b>関連科目</b> 一般：物理、数学、国語、英語 専門：情報処理Ⅰ（2 年）、情報処理Ⅱ（3 年）、数値解析（4 年）</p> <p><b>学習指針</b> 日頃何気なく用いている情報という言葉の技術的な意味と、情報工学について、日常生活と対比させながら理解することが重要である。</p>		
<p>〔教科書〕 「基礎からわかる情報リテラシー（改訂第 2 版）」技術評論社 奥村晴彦</p> <p>〔補助教材・参考書〕 配布プリント</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字入力やネットの利用、ファイル操作ができる。</li> <li>2. 文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを利用できる。</li> <li>3. web による情報発信や情報検索ができる。コンピュータネットワークについての概念を説明できる。</li> <li>4. 情報とセキュリティ、情報と社会について説明できる。基礎的なプログラミングができる。</li> </ol>		
<p>〔評価割合〕 定期試験 (60%) に演習課題・小テスト・学習記録 (40%) を含めて総合評価する。</p>		

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1週	導入(1)	コンピュータの仕組み・使い方を説明できる。	
	2週	導入(2)	コンピュータの基本用語およびメールの送受信方法を説明できる。	
	3週	文字入力	日本語入力を通じて文字コードや機種依存文字、いわゆる全角・半角文字などを説明できる。	
	4週	ネットの利用(1)	電子メールの使い方、メーラの種類および使い分けを説明できる。	
	5週	ネットの利用(2)	基本的なファイル操作およびフォルダの仕組みを説明できる。	
	6週	ファイル操作	データ管理の仕組み、解像度、拡張子の意味を説明できる。	
	7週	文書作成(1)	ワープロソフトを使い基本的なレポートを作成できる。	
	8週	文書作成(2)	ワープロソフトのスタイル機能などを応用しレポートを作成できる。	
	9週	表計算(1)	表計算ソフトの概念を説明できる。	
	10週	表計算(2)	表計算ソフトの基礎的な操作ができる。	
	11週	プレゼンテーション(1)	プレゼンテーションの概念を説明できる。	
	12週	プレゼンテーション(2)	プレゼンテーションソフトを用い基礎的な資料が作成できる。	
	13週	プレゼンテーション(3)	スライドおよびノートの作成法を用いた資料が作成できる。	
	14週	プレゼンテーション(4)	相互のプレゼンテーションから良いプレゼンテーション、悪いプレゼンテーションを説明できる。	
	15週	前期末試験	講義内容を理解し、試験問題に対して正しく回答することができる。	
	16週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
後期	1週	情報発信(1)	webを用いた情報発信法を説明できる。	
	2週	情報発信(2)	webを用いて情報が発信できる。	
	3週	情報検索(1)	身近な話題に関する情報検索ができる。	
	4週	情報検索(2)	工学的話題に関する情報検索ができる。	
	5週	情報検索(3)	情報検索で集めた資料をこれまで習得した技術を用いて整理できる。	
	6週	総合演習(2)	情報検索およびプレゼンテーションを組み合わせた演習を行う。	
	7週	ネットワーク	ネットワークおよびコンピュータの仕組みを説明できる。	
	8週	情報とセキュリティ(1)	自己の個人情報の取扱い等を説明できる。	
	9週	情報とセキュリティ(2)	他者を含めた個人情報の取扱い等を説明できる。	
	10週	情報と社会(1)	知的財産権や著作権を説明できる。	
	11週	情報と社会(2)	情報に関する様々な社会現象を説明できる。	
	12週	プログラミング(1)	簡単なプログラムの概念およびプログラム作成環境が説明できる。	
	13週	プログラミング(2)	基礎的なプログラミングを組むことができる。	
	14週	プログラミング(3)	機械工学科に必要な基本的なプログラミングができる。	
	15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
	16週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	

\* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。